

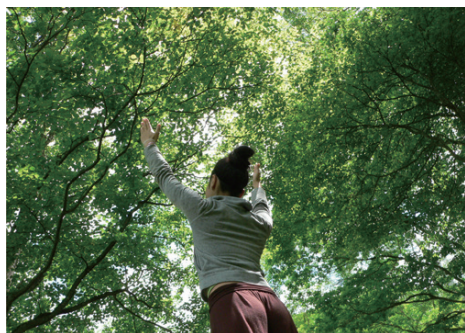
令和3年度林野庁補助事業

健康経営分野の『森林サービス産業』モデル地域等に、7つの地域を選定！

- 「森林空間 × 企業の健康経営」に着目したプログラム開発による、関係人口創出・地方創生を促進 -

(公社)国土緑化推進機構・(株)さとゆめは、「森林サービス産業(健康経営分野)」において先進的な取組を行うモデル地域・準モデル地域を募集しました。検討委員会による厳正な審査の結果、「モデル地域」には3地域、「準モデル地域」には4地域が選定されました。

モデル地域に選ばれた3つの地域



長野県飯山市

(一社)信州いいやま観光局

多彩なコンテンツを組み合わせた
ヘルスツーリズムの活用による企業連携

静岡県富士宮市

NPO 法人猪之頭振興協議会・猪之頭振興協議会

「五感で癒される湧水の里」における
企業向け健康プログラムの提供

兵庫県宍粟市

(公財)しろう森林王国観光協会

森林セラピー事業の強化と
E-bikeを活用した新たなプログラム開発

「森林サービス産業」とは、関係人口創出・地方創生を促進するため、豊かな森林空間を“健康”“観光”“教育”の多分野で活用して新産業を生み出すものとして、平成31年2月に林野庁・国土緑化推進機構が提唱したものです。

昨今、テレワークの普及により、社員のメンタルヘルスケアや健康管理への関心がより一層高まる中、企業の健康経営にも貢献できる「森林サービス産業」への期待が高まっています。

これまでの森林空間利用

山や森林に関心のある個人やグループなどが非日常を楽しむものが主体



経済波及効果が限定的

『森林サービス産業』の提案

幼児期から老年期に至るライフステージ毎に、ワーク(仕事・学業等)とライフ(生活・余暇等)のシーンに合わせて森林空間を活用

健康

セラピー・ヨガ

クアオルト

企業経営

ワーケーション

社員研修

教育

森のようちえん

自然体験教育旅行

様々な業界を巻き込んだ
森林空間利用

ガイド等による良質なサービス

- 企業の社員やその家族向けに、森林セラピー等を活用したプログラムやサービスを提供
- テレワーク導入企業向けに、リモートワークの場とアクティブプログラムを提供
- 子どもやその保護者向けに、森林空間を利用した教育サービスを提供

山村地域での周辺サービス

宿泊

飲食

山村地域に新たな雇用と収入機会を創出

今回「モデル地域」「準モデル地域」に選定された地域に対しては、森林空間における体験プログラムの磨き上げやコーディネーターなどの人材育成のほか、プログラムが心身にもたらす効果を示すエビデンスの取得・活用、地域ワークショップの開催等、多面的な支援を行います。

また、「森林サービス産業」の拡大により、高品質で魅力あるコンテンツが地域に集積されることによって、都市や地域外との関係人口が増大し、二地域居住や移住のきっかけの創出を目指します。地域の「内からの視点」と「外からの視点」が出会い、新たな地域の価値を創造するきっかけともなり、山村振興・地方創生のサイクルが生まれることが期待されます。

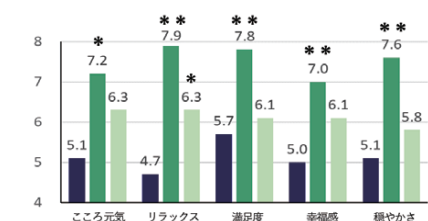
森林と健康の関係を明らかにするエビデンスの例

いま健康経営の領域で、森林サービス産業に期待される効果として、ストレスの軽減、メンタルヘルスの向上など心と体の健康づくりに関するもののほか、ワーケーションなど働き方改革に関するものなど、多様なエビデンスが明らかになっています。本事業においてもレベルの高いエビデンスの取得と活用に取り組み、企業の健康経営を促進していきます。

モデル地域におけるエビデンスの例（R2 年度モデル地域・長野県小海町）

長野県小海町では、IT 企業の社員向けに、メンタルヘルスケアに特化した「Re・Design セラピー」として 4 つのプログラムを主に提供しています。R2 年度、テレワーク施設を効果的に活用した、心と体の健康のための長期滞在プログラムを開発し、首都圏企業の社員に対してモニターツアーを実施しました。

ポジティブ感情の改善・継続（VAS）

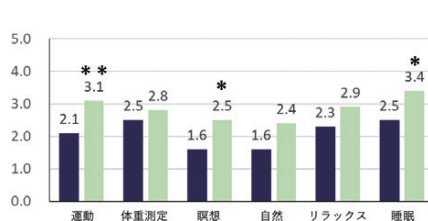


*: $p < 0.01$, **: $p < 0.05$

モニター実施期間：5 日間

参加者：首都圏企業の社員（4 社 9 名）※比較コントロール群（9 名）を設定

生活習慣の変化（行動変容尺度）



生産性の向上（テスト）

	回答数	誤回答数	誤回答率
実施前	1687.6	17.7	1.1
実施後	2017.8	10.8	0.6
変化率	19.6%増	39.0%減	45.5%減

※内田クレペリン検査…簡単な一桁の足し算を 1 分毎に行を変えながら、休憩をはさみ前半と後半で各 15 分間ずつ合計 30 分間実施。

準モデル地域



群馬県上野村 （一社）上野村産業情報センター

生活習慣改善のきっかけづくりに着目した健康増進プログラムの構築



長野県木曽町 （一社）木曽おんたけ健康ラボ

「健康、観光、教育」をつなぐ森林空間の活用とヘルスツーリズムの推進



山梨県都留市 南都留森林組合

森づくりワークを通して、森もヒトも元気になるプログラムの開発



奈良県下北山村

「心身再生の地」としてのブランディングとワーケーション向けヘルスプログラム開発

今後の主な支援スケジュール（予定）

- コーディネーター養成研修（7 月・9 月）…各地域でプログラムの開発・コーディネートを担当する人材育成のサポートを行います。
- モニターツアーの実施（9 月～1 月）…地域ごとにモニターツアーを行い、森林と健康の関係を裏付けるエビデンスを取得します。
- オンラインフォーラム（2 月上旬）…本年度事業の総括として、各地域の取組を発表するフォーラムをオンラインにて開催します。

「森林サービス産業」検討委員会 座長／宮林 茂幸氏（東京農業大学 客員教授）メッセージ



これまで「森林セラピー」「クアオルト」「ワーケーション」等に取り組んでいる農山村地域の中から、新たに企業の健康経営・働き方改革を踏まえた「森林サービス産業」の創出に向けた意欲的な提案を、多数ご応募頂きました。その中で、地域内で推進体制を整えて、ガイドと宿泊・飲食事業者が連携・協働しながら、プログラムの上質化や新たなエビデンスの取得手法の開発等に取り組む地域を、「モデル地域」「準モデル地域」に選定しました。コロナ禍における“適疎”な農山村地域への注目が高まっている中で、豊かな森林空間を活かした特色ある森林産業が創出され、都市や企業等を介した多様な関係人口の創造によって、ニューノーマルの時代に必須の森と人との関わり「Forest Style」が広がることを期待しています。

「森林サービス産業（健康経営分野）」モデル地域・準モデル地域 募集概要

【1】事業主旨	本事業では企業の健康経営や働き方改革に着目して、新たな「森林サービス産業」の事業スキームの創出に取り組む地域を選定し、各地域が抱える課題解決と地域に応じたモデル手法を開発する取組を支援する。
【2】募集期間	令和3年5月14日（金）～6月11日（金）
【3】応募状況	〔モデル地域〕8地域、〔準モデル地域〕2地域
【4】支援内容	〔モデル地域〕モデル事業による、以下の取組を支援します。 ① 新たな「モデル手法」の開発支援 ② 「モニターツアー」の開催支援 ③ 「エビデンス」取得・集積・活用支援 ④ 「地域ワークショップ」開催等支援 ⑤ 「販路開拓・誘客・PR活動」への支援 ⑥ 「コーディネーター養成研修」開催（2回） ⑦ 「専門家・アドバイザー」派遣 ほか 〔準モデル地域〕モデル事業による、以下の取組を支援します。 ① 「コーディネーター養成研修」開催（2回） ② 「課題解決型研修会」開催（2回） ほか

令和 3 年度「森林サービス産業」検討委員会 委員名簿

属 性	氏 名	所 属 ・ 役 職
座 長	宮林 茂幸	東京農業大学 客員教授、美しい森林づくり全国推進会議 事務局長
委 員	安藤 伸樹	全国健康保険協会（協会けんぽ）理事長
委 員	落合 博子	国立病院機構東京医療センター 形成外科医長、国際自然・森林医学会 森林医学認定医
委 員	木村 理砂	Momo統合医療研究所 医師・産業医
委 員	佐野 雅宏	健康保険組合連合会 副会長・専務理事
委 員	島田 由香	ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス(株) 取締役 人事総務本部長
委 員	高山 範理	(国研)森林整備・研究機構 森林総合研究所 上席研究員
委 員	田中 克俊	北里大学大学院医療系研究科産業精神保健学 教授
委 員	鍋山 徹	(一財)日本経済研究所 専務理事、林業復活・地域創生を推進する国民会議 WG主査

関連資料

令和2年度「森林サービス産業」パンフレット
https://www.green.or.jp/cms/wp-content/uploads/fs_report_2020.pdf

国土緑化推進機構／
「森林サービス産業」創出・推進に関する情報紹介ページ
<https://www.green.or.jp/topics/fs2020/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

公益社団法人 国土緑化推進機構 政策企画部
(担当：矢島・林)
E-mail foreststyle@green.or.jp

株式会社さとゆめ 森林サービス産業担当
(担当：浅原・木俣・大澤・田房)
E-mail foreststyle@satoyume.com